

平成 23 年度 日本腰痛学会評議員会議事録

開催日時：平成 24 年 11 月 2 日(金) 18:20~19:20

開催場所：会場 ホテルオークラ神戸 1 階「曙の間」

議長：永田 見生 会長

出席者：理事 10 名、評議員 33 名

会長挨拶

永田会長より、第 20 回日本腰痛学会は、Spine week との合同開催で会期が長くなるため 1 日の日程としたこと、演題は 150 題であり、1 演題を除いて全ての演題を採択したことが報告された。

議事

1. 報告事項

1. 庶務報告

1) 平成 23 年度事業報告

(1) 学術集会の開催

第 20 回学術集会在開催平成 24 年 11 月 3 日(土)

神戸国際会議場(永田見生会長)にて開催予定である。

(2) 委員会の開催

平成 24 年 11 月 2 日 理事会、評議員会、11 月 3 日編集委員会が開催予定である。

(3) 学会誌の発行

平成 24 年 6 月 25 日に JSR 第 3 巻 6 号を発行した。投稿論文数は 19 編である、

内容は一般投稿 14 編(英文 1 編含む)、学会の主題からの特集 4 編である。

(4) 会員の動向

平成 24 年 10 月 5 日現在の会員数は 857 名、名誉会員 13 名、特別会員 7 名、

新入会者 19 名、退会者 30 名である。

物故会員 1 名(栗原 章 先生、平成 24 年 1 月 3 日ご逝去)に対して黙禱が捧げられた。

2. その他

1) 腰痛診療ガイドラインについて

白土 修先生より、10 月末日に腰痛診療ガイドラインが南江堂より出版されたことが報告された。また、今後、ガイドラインは改訂されるかとの質問があり、然るべき時期に改訂が必要になるとの回答があった。

II. 審議事項

1. 平成 23 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告が行われ、監事（中井修先生）から会計監査結果が報告され、承認された。

2. 平成 24 年度の事業計画、予算案審議

学術集会開催、学会誌発行、委員会開催予定および予算案が提出され、承認された。

1) 第 21 回学術集会の概要：会長 持田譲治先生（東海大学教授）

会期 平成 25 年 11 月 1, 2 日（金, 土）

会場 JP タワーホール&カンファレンス

東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号

（平成 25 年 3 月 21 日オープン予定の新ビル）

2) 学会誌の発行：JSR 第 4 巻 6 号 平成 25 年 6 月に発刊予定

3) 委員会の開催：評議員会、理事会 平成 25 年 11 月

編集委員会 平成 25 年 11 月

3. 次々々期会長の選出について

千葉労災病院整形外科 山縣正庸先生が推薦され、承認された。

4. 名誉会員について

伊藤博元先生、岩谷力先生が推薦され、承認された。

5. 特別会員について

小田裕胤先生、北原宏先生が推薦され、承認された。

6. 新役員・評議員について

新理事 山縣正庸先生（千葉労災病院整形外科）

新評議員 新井嘉容先生（国立印刷局東京病院整形外科）

稲見 聡先生（獨協医科大学整形外科）

木村 敦先生（自治医科大学整形外科）

佐藤公昭先生（久留米大学医学部整形外科）

竹下克志先生（東京大学整形外科）

辻 崇 先生（北里研究所病院整形外科）

矢吹省司先生（福島県立医科大学整形外科）

が推薦され、承認された。

7. 特別アドバイザーについて

伊藤博元先生が推薦され、承認された。

8. 2012年優秀論文賞について

18件の論文について、選考委員会による厳正な審議の結果、福島県立医科大学整形外科二階堂琢也先生の論文「腰部脊柱管狭窄の腰痛に対する除圧術の効果—疾患と神経障害型式による比較、前向きコホート研究—」に決定した。

III. 次期会長挨拶

第21回日本腰痛学会会長の持田讓治先生が、会期は平成25年11月1.2日（金土）JPタワーホール&カンファレンスにて開催予定の旨を報告した。

第22回日本腰痛学会会長として高橋和久先生が、日時と開催地は検討中であり、側弯症学会、脊椎インストルメンテーション学会とは別開催とする予定であると報告した。